



since1954

のむらだより



発行所 ● 医療法人社団 秀和会 野村医院 〒660-0823 尼崎市大物町1丁目9-25 TEL:06-6481-4207 FAX:06-6401-6392 <http://www.shuwakai-nomura.or.jp/> 発行人 ● 平野 学

新年手作り 祝い膳

地域生活支援
ハウスのむら
だより

二〇二二年、静かな新年を迎えました。ハウスのむらでは恒例の新年を祝う食事会も今年で二度目の見送りです。元日を施設で迎えた方は小規模利用者の六人だけ。昼食はささやかな手作り祝い膳で、メニューは栗入り赤飯、白味噌雑煮、ブリの照り焼き、柚子釜入り紅白なます、だし巻き卵、昆布巻き、黒豆、さつまいもの茶巾絞り、煮物などです。雑煮のお餅は、嚥下障害のある方には芋餅を、お



厨房 四方 静子

皆さんの力添えのもと、野村医院リハビリテーション科は開設一〇年を超えました。当院では医療保険による【運動器リハビリテーション】と介護保険による【通所リハビリテーション（デイケア）】を行っています。スタッフは理学療法士五名（昨年女性の理学療法士が入職！）、助手三名で、患者さんや利用者さんへ良い医療、快適な環境を提供できるよう努めています（詳しい勤務体制を知りたい方は別途ご連絡下さい）。医療保険での運動器リハビリテーションでは、痛みの軽減や循環の改善を図る物理療法（ホットパックやメドマーなど）、関節の動きや筋力などを改善する運動療法（理学療法士による個別療法は一人二〇〜三〇分）、ベッド上での動きや起立、歩行、階段などの動作練習を実施します。介護保険でのデイケアは、

野村医院リハビリテーション科

二月から土曜日のデイケアも実施

療士による個別療法は一人二〇〜三〇分、ベッド上での動きや起立、歩行、階段などの動作練習を実施します。介護保険でのデイケアは、

自宅に向いてリハビリを行う【訪問リハビリテーション】も行っていますので、お気軽にご相談下さい。また、当院では新たな取り組みとして、地域の方の健康な体作りや交流の一助となることを目的として、「野村医院体操教室」の開催を予定していますが、新型コロナウイルスの影響でなかなか開始できていません。今後開催時期が決まり次第案内しますので、興味のある方は是非ご参加下さい。

仲谷 武司



保健所を減らさないで！

みさき漁

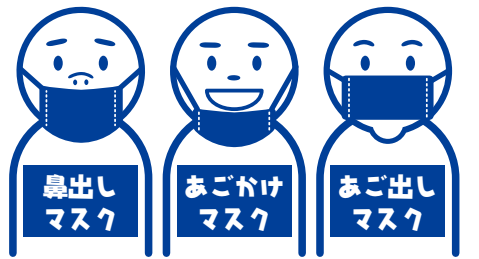
ふれあい

「救える命はひとりも見逃さない」：昨年公開されたドキュメンタリー映画「終わりの見えない闘い」新型コロナウイルス感染症と保健所（宮崎県監製）を鑑賞。日頃私たちが目にするのではない保健所の現場、コロナ禍の保健所（東京・中野区）に密着した作品。入院にあたって、延命措置の問いかけまでしなければならぬ現場での葛藤が身につまされる。宮崎監督は「保健所の動きを美化するつもりは毛頭なく、なぜこういう現状になっているのか考えるきっかけに」と新型コロナウイルス感染症第六波では、今まで行われていた自宅療養患者への健康調査も無くなるという話もある。感染者自身が濃厚接触者が「保健所に連絡がとれない」「保健所から連絡がこない」と、今まで以上に苛立ちを感じる事態になるのか。感染症対策の相談窓口となる保健所は崩壊していくのか？新型コロナウイルス感染症に対しては、いつでもどこでも、誰でも「医療サービス」が受けられるシステム（国民皆保険制度）も脆く、第五波では、自宅療養中（医療を受けずに）亡くなった国民が二〇〇人を超えたと報道されている。今一度、職種、職域を乗り越えて、「市民の命を守る」ということを一緒に考えていく時。その問いかけは、地域医療の現場から出来るはず

（C）

健康一口アドバイス

380



二〇二二年が明けてからも、新型コロナウイルス感染症が増加してきています。まだまだ、マスクの着用、こまめな手洗い、部屋の換気・加湿など、できる限りの感染予防が必要のようです。

マスクの正しいつけ方

なかでも、マスクの着用は、鼻や口から侵入しようとするウイルスをブロックしたり、ウイルスの付いた手で顔をさわるのを減らしたり、鼻やのどの湿度を上げてウイルスを排出しやすくします。

また、同じマスクを何日もつけたり、ポケットに入れたりすると、マスクにウイルスが付いたままになり、感染のリスクが高くなります。

- 鼻だけ出してつける
- マスクの上下、裏表は気にしない
- 一度使ったマスクを翌日も使う
- 一時的に外すときはポケットに入れる

外来看護部

阪神・淡路大震災

27年メモリアル集会

毎年、「あの日を忘れない1・17メモリアルコンサート」に参加していましたが、一昨年からコロナ禍で二年間開催されずにいました。今年は「政治を変えよう！尼崎市民交流会」の方々から「こむら潤さんのバリ舞踊が見たい」というリクエストにクラリネット奏者の竹内久力（くり）さんが協力して、二〇二二年一月十六日、ピッコロシアターで「1・17に心をよせてバリ舞踊とクラリネット演奏」が行われましたので参加しました。

最初に、こむら潤さんによるバリ舞踊で、最も有名な歓迎の舞踊「ガボール」が披露され、鮮やかな衣装で、まるで仏像が飛び出て来たと思うほど異国情緒あふれる踊りでした。

午後からは、神戸の勤労会館で行われた「阪神・淡路大震災27年メモリアル集会」に参加、コロナ禍でも二〇人が集まり、災害対策の関心の高さに驚きました。



兵庫県民復興会議の畦布和隆氏のあいさつを兼ねた報告では、前日の夜にトンガの噴火と地震が起こり、「自然災害で誰もが被災者になる。今こそ被災者支援給付金は最高三〇〇万円から最高五〇〇万円に引き上げを！公的支援の拡充が必要。パンデミックの中の災害も今後は検討していかなければならない」との提起がありました。



全国災害対策連絡会の川村好伸・全労連副議長が連帯のあいさつの後、震災当初から被災者の個人補償を求めて運動してきた、日本共産党のこくた恵二衆議院議員が来賓挨拶。「自然災害は止められない。安全は政治の要。公的支援の拡充を！これからは憲法十三条、二十五条をいかし、生きるための新しい運動・公

その後、神戸大学名誉教授の塩崎賢明氏が「大震災と復興災害―住宅再建と復興予算」と題して講演。一部損壊で避難所にいかずに自力で修理・補修をした人やコンテナハウスを生かした改修をした人達は支援金の恩恵があまり受けられなかったこと。新長田駅南の巨大開発の失敗、創造的復興の名前で神戸空港のインフラ整備に予算が使われ、実際に被災者に回る金額が少なくなった実態や、借り上げ住宅からの強制退去などが報告されました。

総務 立石 智子

短歌

「核兵器禁止条約締結国会議inウィーン」

この三月 ウィーンに集い 条約を
一步一步と 前へ進める

この会議 世界の声を 寄せ集め
いらぬ兵器 どう処理するか

―西澤 求甫―

健康情報

(兵庫県保険医協会)

―テレホンサービス―

- ②月のテーマ
- 月曜日/目のヘルペス
- 火曜日/小児の虫歯
- 水曜日/肉離れ
- 木曜日/大動脈解離
- 金土日/脂漏性皮膚炎

※11日(金祝)は木曜日の、23日(水祝)は火曜日のテーマを放送します。

TELフリーダイヤル 0120-979-451

お知らせ

※新型コロナウイルスの影響により、教室関係は当面の間休止させていただいております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。